

詩のことば、声のちから

ジェフリー・アングルス の講演と、東北の“おんば”によるトーク

とき 平成29年12月23日(土) 13時30分～15時00分

ところ 日本現代詩歌文学館2階 展示室

無料
申込不要

第1部 13:30-14:15 講演と朗読 ジェフリー・アングルス

第2部 14:20-15:00 トークと朗読 金野孝子、ジェフリー・アングルス

*司会(第1部・2部とも) 新井高子



ジェフリー・アングルス

Jeffrey Angles

1971年、アメリカ・オハイオ州コロンバス生まれ。詩人、ウェスタンミシガン大学教授(日本文学)。日本の小説や詩の翻訳も広く手掛ける。当館の2012年度常設展「未来からの声が聴こえる—2011.3.11と詩歌」に詩「地震後の帰国」原稿を出品。日本語による第一詩集『わたしの日付変更線』(2016.11 思潮社)で読売文学賞を受賞。

金野孝子 きんの たかこ

1932年、大船渡市生まれ、同市在住。詩人。ながらく保育士の仕事をし、70歳くらいから詩を書き始める。第一詩集『山吹』(2015.8 私家版、岩手開発産業株式会社印刷)。この詩集には、大船渡の土地言葉で書いた詩も数多く含まれる。『東北おんば訳 石川啄木のうた』の編集および“おんば訳”の朗読協力者。



司会・新井高子 あらい たかこ

1966年、群馬県生まれ。詩人、埼玉大学准教授(日本語教育)。当館こどもの詩のワークショップ講師。詩集『タマシイ・ダンス』(2007.8 未知谷)で小熊秀雄賞。2014年から16年にかけて、大船渡の仮設住宅集会所などを会場に、啄木の短歌を当地の土地言葉に“翻訳”するプロジェクトを行い、その成果を『東北おんば訳 石川啄木のうた』(2017.9 未来社)にまとめた。

日本現代詩歌文学館